

北海道新幹線札幌開業時期の見通しと今後の課題

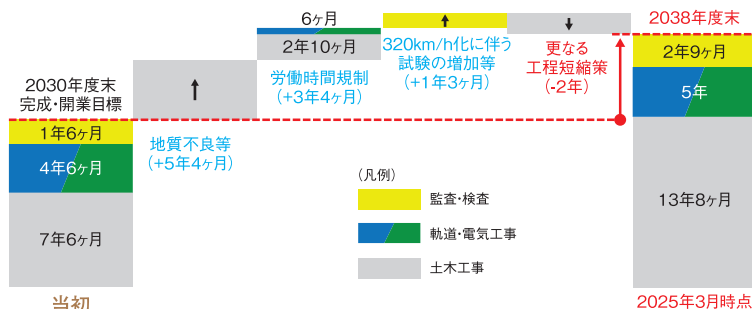
北海道新幹線札幌延伸に関する国の有識者会議の検討状況

北海道新幹線路線図



札幌開業時期及び事業費の見通し

開業見通し〈渡島トンネル(台場山工区)の全体工程〉



有識者会議による検討結果(2025年3月14日)
完成・開業は概ね2038年度末頃の見込み

トンネルの貫通に一定の目途が立った段階で改めて精査

2025年3月、北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する国の有識者会議は検討結果を国土交通省に報告し、札幌延伸の2030年度末の完成・開業は困難で、現時点では、完成・開業は概ね2038年度末頃の見込みであることが示されました。

国土交通大臣からは、トンネルの貫通に一定の目途が立った段階で、改めて全体工程を精査するよう鉄道局や機構に対して指示がありました。また、事業費についても、想定を上回る工事資材価格等の上昇、想定を上回る地質不良等の予期せぬ自然条件への対応のための工事の追加及びこれに伴う工程の長期化等の要因により事業費の増加のおそれがあり、国土交通大臣の指示により、現在、有識者会議において事業費の見込みについて精査が行われています。

当社も国等の検討に対して必要な協力を行っていきます。

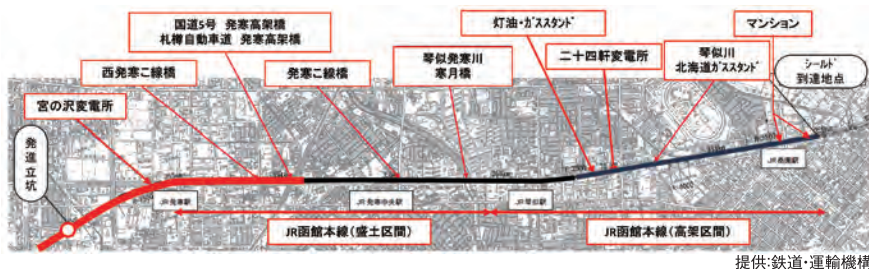
新函館北斗～札幌間のトンネル工事

新函館北斗～札幌間のトンネル工事のうち、2025年3月の有識者会議で報告された遅延リスクの高い工区があるトンネルの掘削状況と完了見通し、掘削率は右記の通りです。

トンネル名	掘削の状況(※1)	土木工事完了見通し(※1)	掘削率(※2)
札幌トンネル	想定を上回る地質不良による掘削難航	2030年5月頃(札幌工区)	43%(札幌工区)
羊蹄トンネル	巨大な岩塊群遭遇により掘削難航	2030年8月頃(有島工区)	70%(有島工区)
渡島トンネル	想定を上回る地質不良による掘削難航	2030年11月頃(台場山工区)	73%(台場山工区)

※1 2025年3月公表の有識者会議報告書による ※2 鉄道・運輸機構ホームページ(2026年7月現在)による

札幌トンネルの札幌市街地の平面略図



札幌トンネル(札幌)
札幌方掘進の様子
提供:鉄道・運輸機構



渡島トンネル(台場山)
トンネル掘削工事状況
提供:鉄道・運輸機構

札幌開業の延期による当社への影響

札幌開業の延期により当社には様々な影響がありますが、主な影響は以下の通りです。

●車両計画

- 新幹線車両の更新や札幌開業に向けた車両の調達に向けて、スケジュールの見直し等が必要となります。
- 並行在来線の運行期間が延びることで、特急北斗のキハ261系やH100形他線区への配置転換の時期が先送りとなるなど、全道の在来線の車両運用計画に影響が生じるため、車両の改修や運用体系の検討が必要となります。

●施設計画

- 当社が受託する新幹線工事のスケジュールや、新幹線や在来線設備の更新計画等について見直し等が必要となります。

●開発事業

- 札幌駅の再開発事業や倶知安駅周辺のホテル開発等について収益性に影響する可能性があり、対応策の検討が必要となります。

●要員計画

- 新幹線要員の養成のほか、全社的な要員計画等の見直しが必要となります。

●中長期計画(長期収支)

- 新幹線や並行在来線の大幅な赤字が当面継続となるため、その間の収支改善策(現在の「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律」に基づく国による当社への支援含む)について検討が必要となります。